

世界水の日に向けて 人権専門家が声明

2024/03/21

国連人権高等弁務官事務所

世界水の日に向けて、安全な飲み水と衛生に関する特別報告者が声明を述べた。内容は以下のとおり。“平和のための水の活用”をモットーとする世界水の日 2024 に向けて、国境を超えた水管理に人権アプローチを採用するよう求めたい。これこそが紛争を防止し恒久平和を構築するアプローチである。現在、およそ 300 の河川流域と 600 の帯水層から成り、利用可能な淡水の 60%を占める水界生態系を 153 か国が共有している。経済資源としてのみ見られる水は、紛争、特に越境流域では武力紛争を引き起こす可能性がある。河川は生きた生態系として管理し、適切な生活水準を維持するために、全ての人々の利益のために持続的に管理する責任を共有する必要がある。気候変動に起因する干ばつ・洪水・大規模移住のリスクのために、資源に基づくアプローチから生態系に基づくアプローチに転換する必要性はこれまで以上に高くなっている。